

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	心原性ショック患者における IMPELLA 補助下の血行動態指標と臨床転機 の関係についての観察研究 (B21-149)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学病院 循環器内科 助教 池田 祐毅
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背 景・目的	心原性ショックは急性心筋梗塞、重症心不全、致死性不整脈などを原因とする重篤な病態であり、薬物療法で効果不十分である場合は補助循環装置が使用されます。IMPELLA は国内では 2016 年より使用開始された経皮的補助循環用ポンプカテーテルであり、近年使用が増加しています。当院では、IMPELLA を使用した心原性ショック患者様の血行動態指標と臨床転機 の関係についての検討を行います。
調査データ 該当期間	2019 年 2 月 1 日から研究機関の長の許可日までの情報を調査対象としま す。
対象となる患者さん	2019 年 2 月 1 日から研究機関の長の許可日までの期間内に心原性ショッ クで当院に入院され IMPELLA によって治療された患者様。
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報:2019 年 2 月 1 日から研究機関の長の許可日までの電子カル テに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用開始予定日: 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削 除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も 患者様を特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は北里大学医学部循環器内科学研究費を使用 します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け 適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等は、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障 がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので お申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患 者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対 象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様 に不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文 などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデー タを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には 特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 所属・職位:北里大学病院 循環器内科 助教 担 当 者:池田 祐毅 (いけだ ゆうき) 電 話:042-778-8111 (代表)
備 考	